開発支援アクション(1.2.1)

概要：

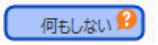
CELFを使った作業者から挙がった、「こんなアクションがあればいい」という、痒いところに手が届くような、開発支援のための便利アクション集です。

変更された仕様：

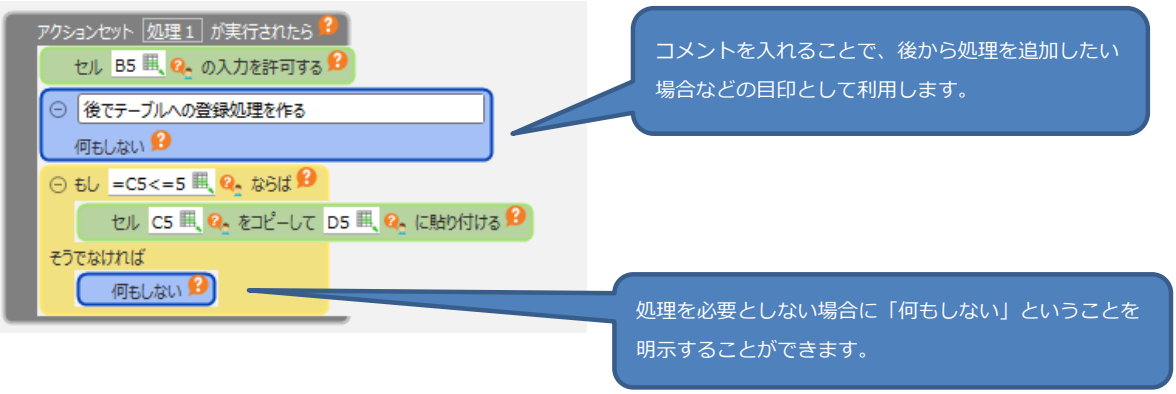
1.2.1では、すべてのアクションが「アクションセット設定情報をエクスポートする」機能に対応致しました。「アクションセット設定情報をエクスポートする」機能については以下を参照してください。

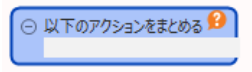
https://cloud.celf.jp/celf-help/ja/texts/action_make/export_actionset_settings/export_actionset_settings.html

イメージ：

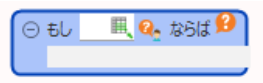
アクション名	何もしない
概要	 このアクションでは何もしません。 コメントのみを入れたい場合や、後から作業する場合の目印などに利用します。
ヒント	このアクションでは何もしません。以下のような場合に利用することができます。 ・コメントを記載しておきたい、後から処理を入れたいなど、目印として使いたい場合。 ・指定の条件に応じた処理やエラーのハンドリングなどで、あえて処理をしないことを明示させたい場合。
仕様	何も実行しません。

使用例

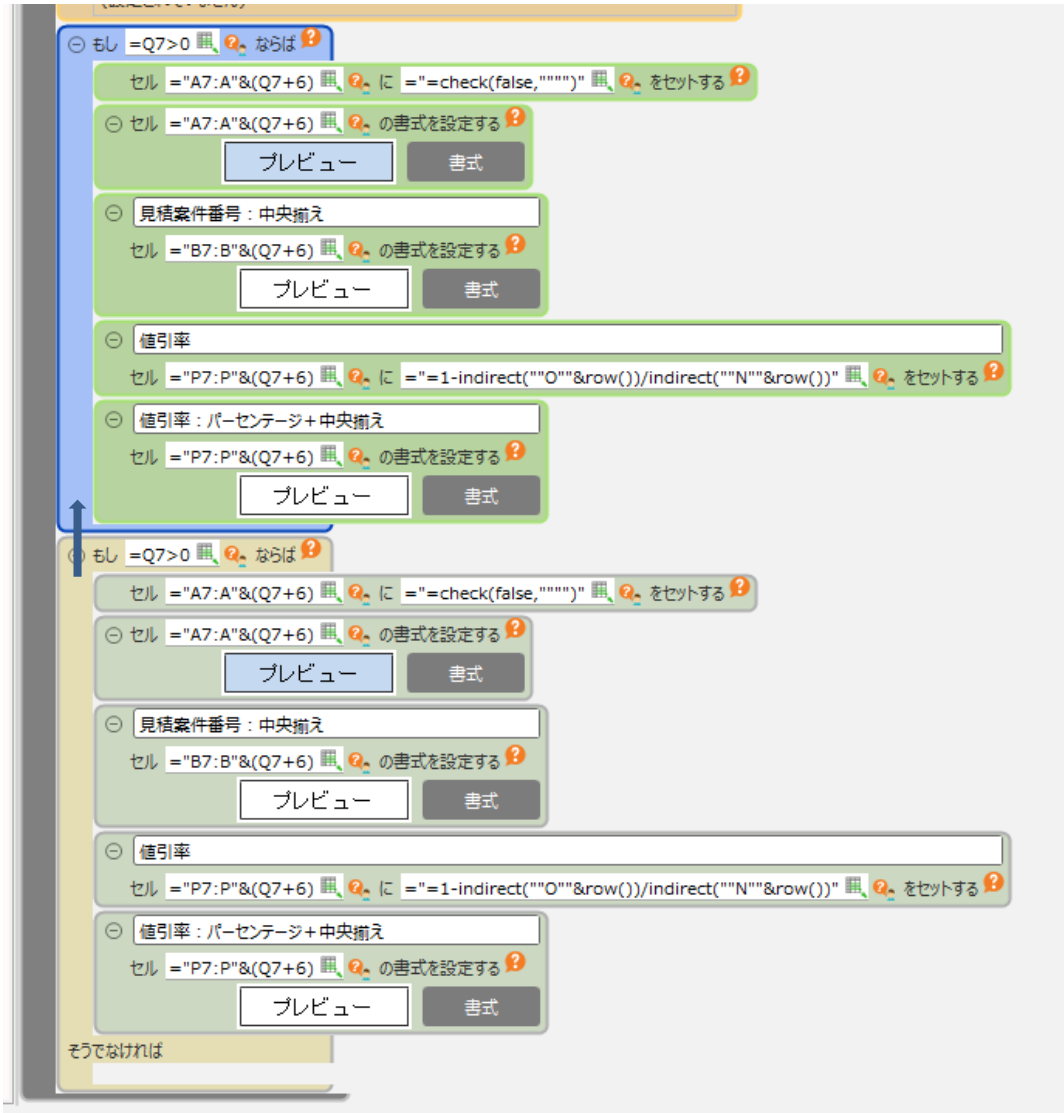


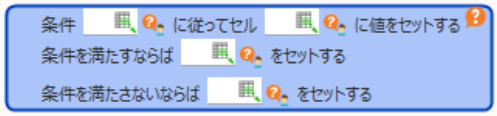
アクション名	アクションをまとめる
概要	 複数あるアクションをグループ化するアクションです。
ヒント	複数のアクションを1つの意味のあるアクション群として表現します。まとめることにより、アクションの可読性を向上させ、折りたたむことや一括でコピーできるようになります。
仕様	まとめられた配下のアクションを実行します。

使用例

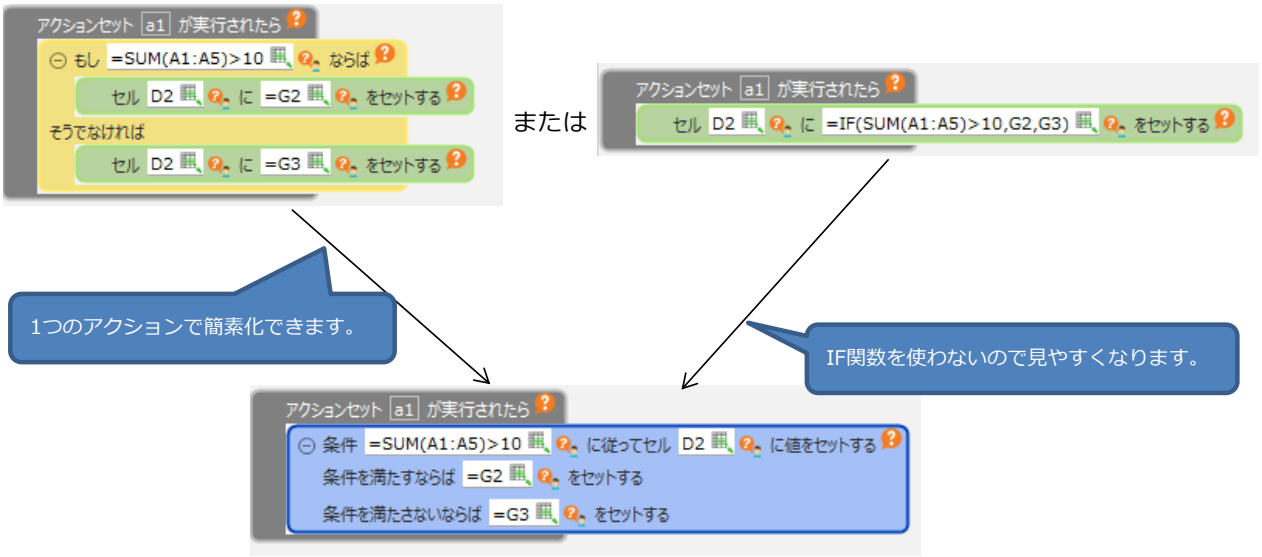
アクション名	条件を満たすか判定する（elseなし）
概要	 else句のない条件判定アクションです。 「そうでなければ」(else句) 側にアクション不要の場合に使用します。
ヒント	指定の条件を満たす場合は配置されているブロックの処理を実行します。
仕様	指定の条件を満たす場合は配下のアクションを実行します。条件が未設定の場合はアクションセット保存時にエラーとなります。

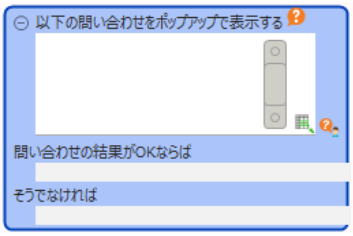
使用例



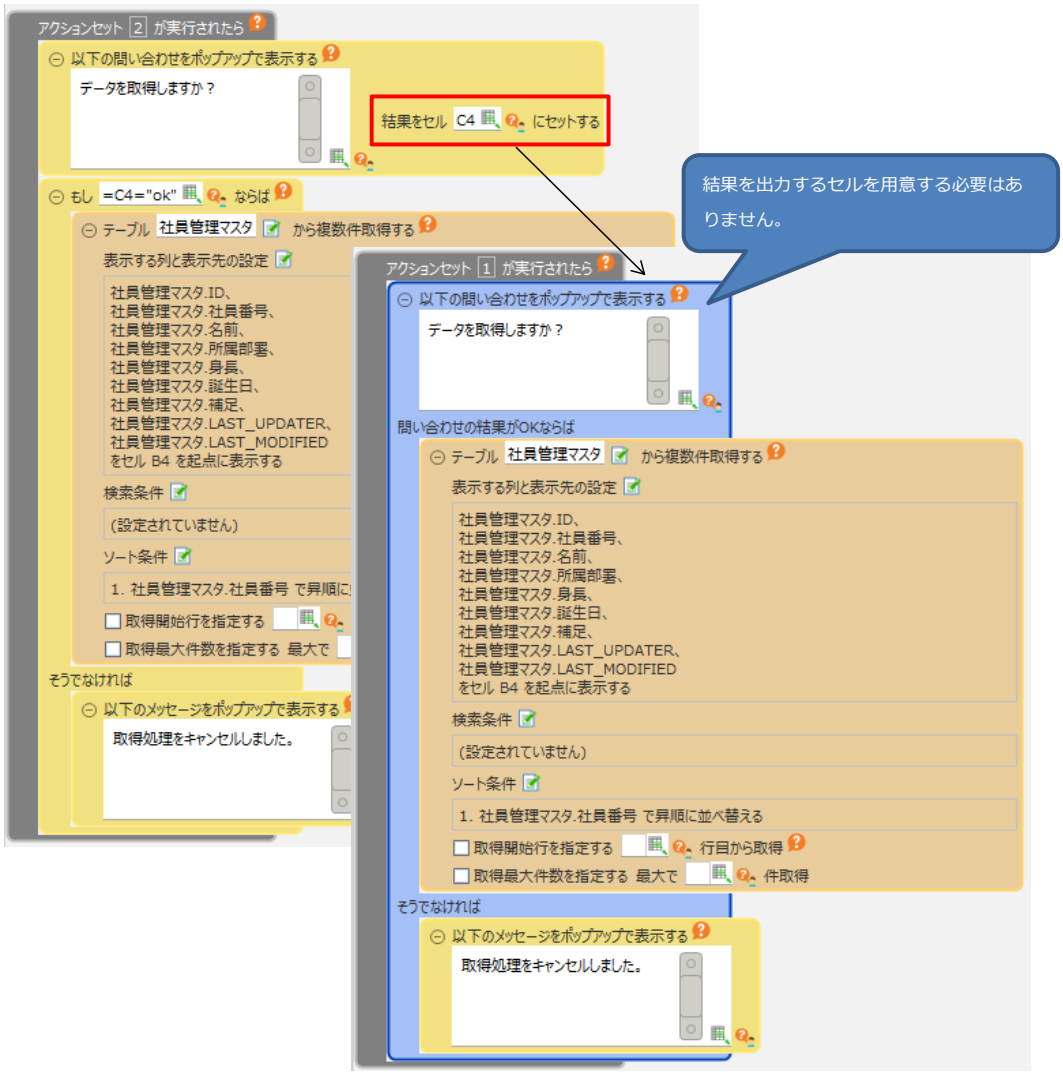
アクション名	条件に従ってセルに値をセットする
概要	 条件、trueのときにセットする値、および、falseのときにセットする値をそれぞれ指定し、指定された条件の評価結果によって値を切り替えて指定セルにセットします。
ヒント	指定した条件に従い指定のセルまたはセルの範囲へ値をセットします。
仕様	条件の評価結果が true の場合は、true用に用意された値を指定アドレスにセットし、false の場合は、false用に用意された値を指定アドレスにセットします。

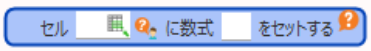
使用例



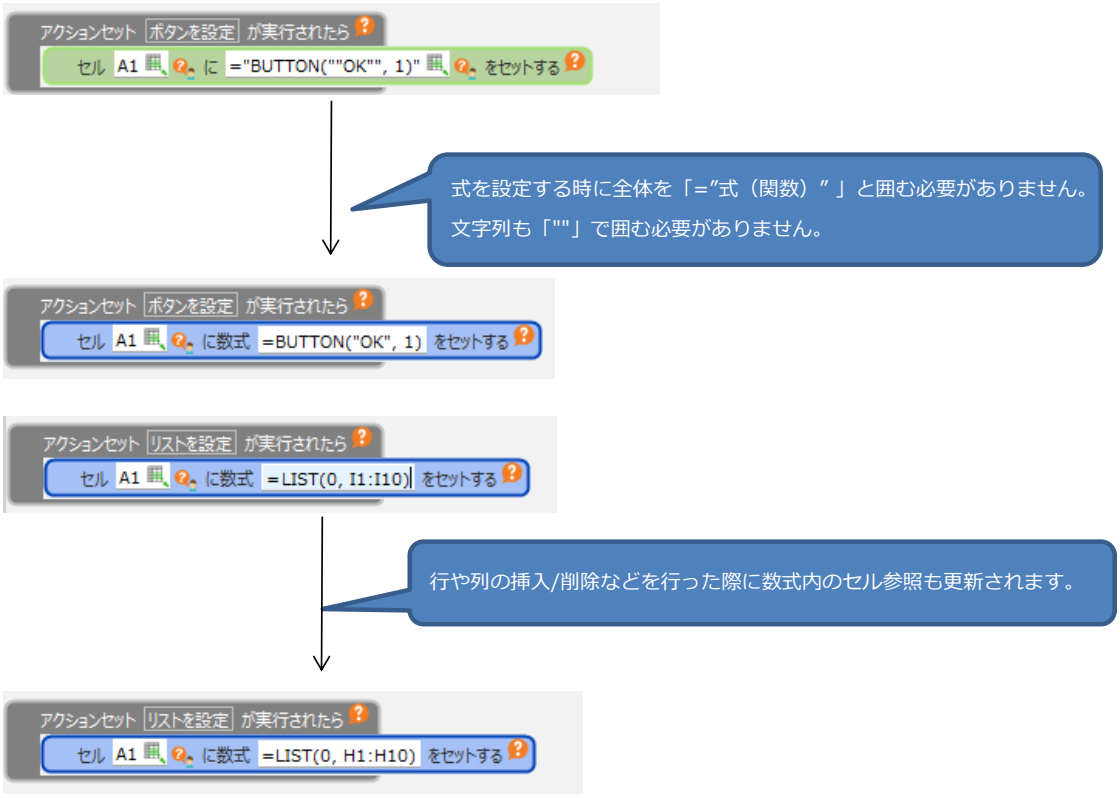
アクション名	問い合わせのポップアップ結果で分岐する
概要	 「問い合わせをする」アクションと「条件分岐」アクションを結合したアクションです。「問い合わせをする」アクションでは、問い合わせ結果をセルにセットする必要があり、結果を出力するセルが必要ですが本アクションでは必要ありません。
ヒント	指定した値を問い合わせ内容として"OK"/"キャンセル"ボタンを持つポップアップウィンドウを開き、利用者が押したボタンによって処理を分岐します。 "OK"ボタンを押した場合は上、"キャンセル"ボタンを押した場合は下に配置されているブロックの処理を実行します。
仕様	「問い合わせをする」アクションでは、問い合わせ結果をセルにセットする必要がありますが、本アクションは結果を内部に持ち、その結果で then側とelse側のアクションブロックを実行します。

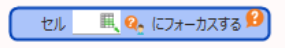
使用例



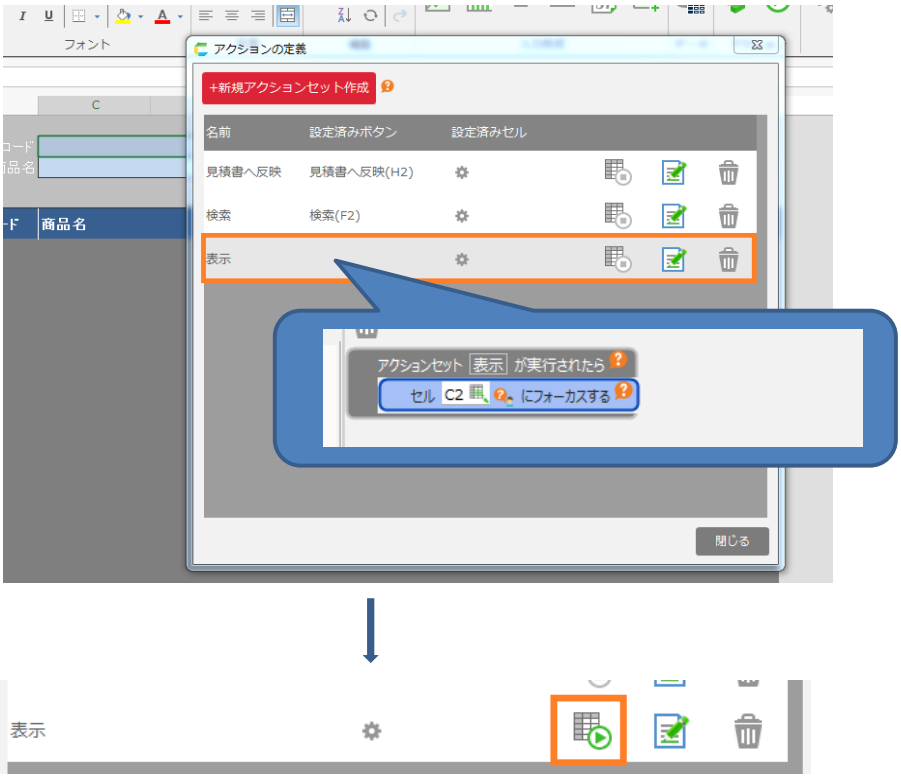
アクション名	セルに数式をセットする
概要	 指定のセルに入力された内容を数式としてセルに設定します。
ヒント	指定のセルまたはセルの範囲へ数式をセットします。値には「=」で始まる式を設定してください。 数式には「=BUTTON("OK", 1)」というように、入力したい数式をそのまま指定します。式中の文字列を「""」で囲う必要はありません。
仕様	・指定したセルに数式をそのままセットします。数式以外が指定された場合アクションセット保存時にエラーとなります。 ・本アクションでは行列追加などでセルが移動となった場合、式中のセルアドレスが更新されます。

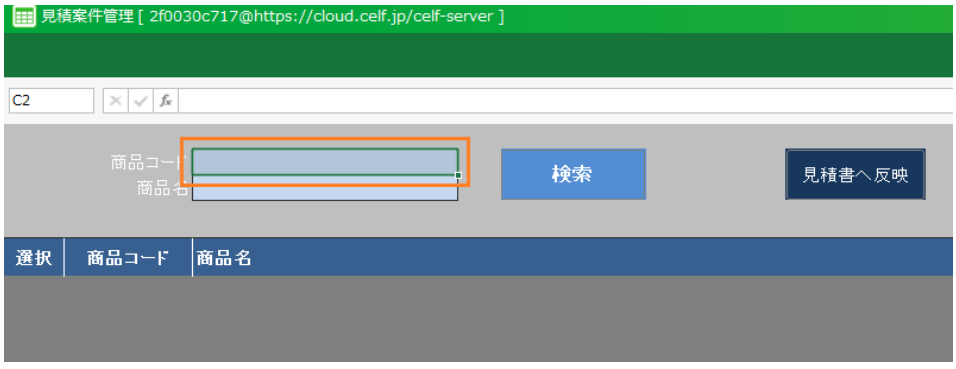
使用例



アクション名	セルにフォーカスする
概要	 指定したセルにフォーカスします。 指定されたセルが画面上に無い場合は、そのセルが表示される位置までスクロールします。
ヒント	入力が許可されている指定のセルにフォーカスします。セルの複数指定、および、範囲指定はできません。また、指定されたセルが入力許可されていない場合はフォーカスしません。
仕様	・セルが未設定、複数指定、または、範囲指定されている場合はアクションセット保存時にエラーとなります。 ・入力が許可されている指定のセルにフォーカスします。指定されたセルが入力許可されていない場合はフォーカスされません。

使用例





アクション名	ボタンのラベルを変更する
概要	セル のボタンのラベルを に変更する 指定したセルのボタンラベルを変更します。
ヒント	指定されたボタンセルのラベルを変更します。 指定されたセルがボタンセルでない場合は、何も行いません。また、ボタンIDは変更しません。
仕様	・指定したセルのボタンラベルを変更します。セルは複数指定、または、範囲指定が可能です。 ・セルがボタンでない場合は何も行いません。また、ボタンIDは変更しません。

使用例

市町村検索

都道府県 （指定なし）　分類 （指定なし）　検索

≪先頭へ　＜前へ　次へ＞　最後へ≫

No.	市町村コード	市町村名	都道府県	人口	増減数	増減率
1						
2						
3						
4						
5						

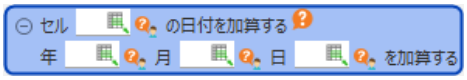
No.	市町村コード	市町村名	都道府県	人口	増減数	増減率
1	12100	千葉市	千葉県	971,882	10,133	1.1%
2	12202	銚子市	千葉県	64,415	-5,795	-8.3%
3	12203	市川市	千葉県	481,732	7,813	1.6%
4	12204	船橋市	千葉県	622,890	13,850	2.3%
5	12205	館山市	千葉県	47,464	-1,826	-3.7%

↓

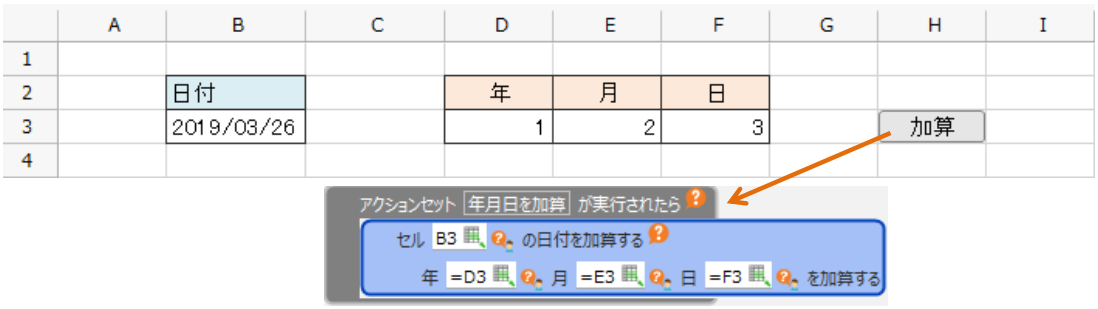
No.	市町村コード	市町村名	都道府県	人口▲	増減数	増減率
1	12342	神崎町	千葉県	6,133	-321	0.0%
2	12422	睦沢町	千葉県	7,222	-118	-1.6%
3	12443	御宿町	千葉県	7,315	-423	-5.5%
4	12426	長柄町	千葉県	7,337	-698	-8.7%
5	12409	芝山町	千葉県	7,431	-489	-6.2%

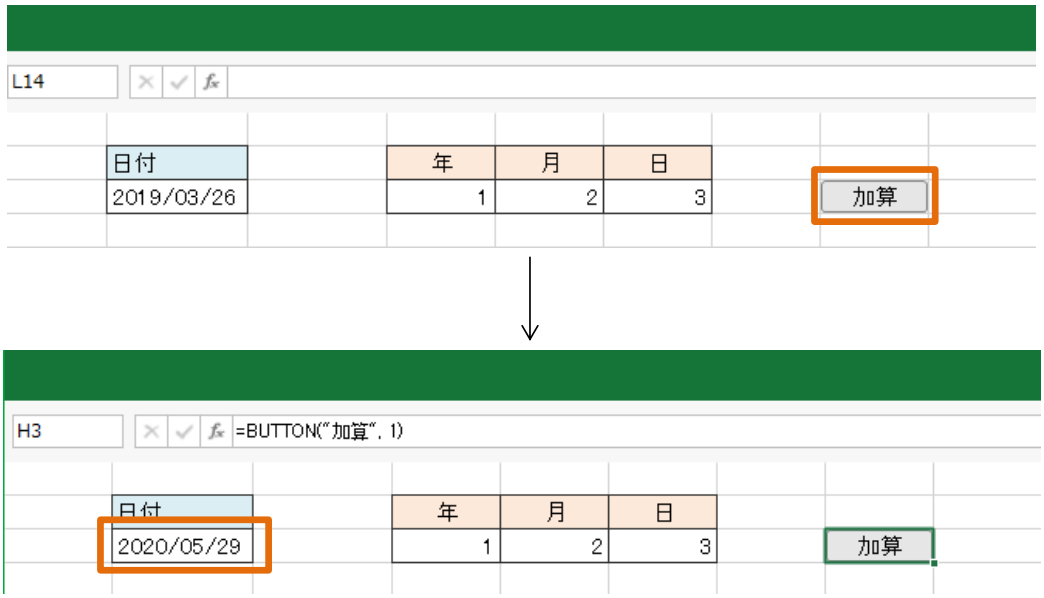
↓

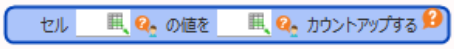
No.	市町村コード	市町村名	都道府県	人口▼	増減数	増減率
1	12100	千葉市	千葉県	971,882	10,133	1.1%
2	12204	船橋市	千葉県	622,890	13,850	2.3%
3	12207	松戸市	千葉県	483,480	-977	-0.2%
4	12203	市川市	千葉県	481,732	7,813	1.6%
5	12217	柏市	千葉県	413,954	9,942	2.5%

アクション名	日付セルの年月日を加算する
概要	 指定されたセルの日付の値を加算します。
ヒント	指定されたセルの日付の値を加算します。 指定されたセルの値が日付でない場合は、何も行いません。
仕様	・指定されたセルの日付の値を、年、月、日で指定された分加算します。セルは複数指定、または、範囲指定が可能です。 ・年、月、日に負数を指定した場合、日付は減算されます。 ・指定されたセルの値が日付でない場合は、何も行いません。 ・年、月、日はいずれかを入力する必要があります。（全てを入力する必要はありません）

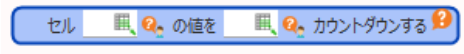
使用例





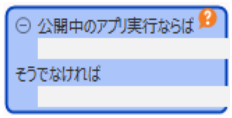
アクション名	セルの値をカウントアップする
概要	 指定セルの値を指定した値でカウントアップします。 今まで「セルの値を設定する」アクションで、値として、=A1+1 等で値を設定していた加算処理に式を記述する必要がなくなります。
ヒント	指定セルの値を指定した値（整数）でカウントアップします。セルの範囲指定はできません。
仕様	・セルが未設定、または、範囲指定されている場合はアクションセット保存時にエラーとなります。 ・指定セルの値を指定した値でカウントアップします。カウントアップする値が数値（整数）で無い場合はアクションセット保存時にエラーとなります。また、カウントアップする値を式で設定した場合、実行時に式を評価した結果が数値（整数）で無い場合は作用しません。 ・指定可能なカウントアップする値（整数）は、- 2,147,483,648 ～ 2,147,483,647 の範囲です。 ・指定されたセルの値が数値ではない場合 #VALUE! エラーとなります。ただし、指定したセルが空の場合は0とみなします。

使用例

アクション名	セルの値をカウントダウンする
概要	 指定セルの値を指定した値でカウントダウンします。 今まで「セルの値を設定する」アクションで、値として、=A1-1 等で値を設定していた減算処理に式を記述する必要がなくなります。
ヒント	指定セルの値を指定した値（整数）でカウントダウンします。セルの範囲指定はできません。
仕様	・セルが未設定、または、範囲指定されている場合はアクションセット保存時にエラーとなります。 ・指定セルの値を指定した値でカウントダウンします。カウントダウンする値が数値（整数）で無い場合はアクションセット保存時にエラーとなります。また、カウントダウンする値を式で設定した場合、実行時に式を評価した結果が数値（整数）で無い場合は作用しません。 ・指定可能なカウントダウンする値（整数）は、- 2,147,483,648 ～ 2,147,483,647 の範囲です。 ・指定されたセルの値が数値ではない場合 #VALUE! エラーとなります。ただし、指定したセルが空の場合は0とみなします。

使用例

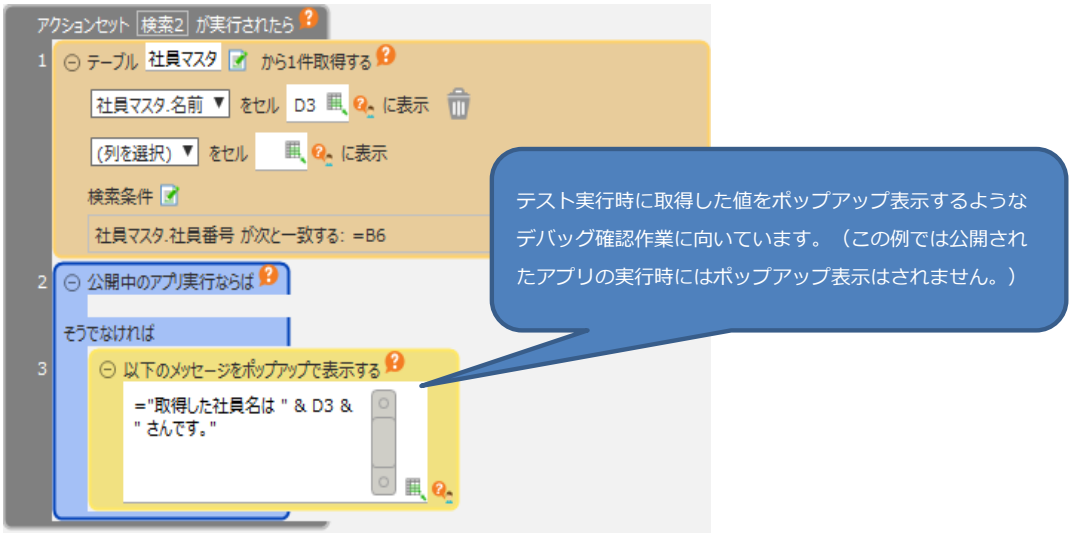
「セルの値をカウントアップする」を参照してください。

アクション名	アプリの実行状態で分岐する
概要	 アプリの実行状態によって処理を分岐します。
ヒント	アプリの実行状態で処理を分岐します。 公開されたアプリの実行中の場合は上、テスト実行などその他実行中の場合は下に配置されているブロックの処理を実行します。
仕様	実行状態を判別した「条件分岐」アクションで、デバッグ利用を主とした目的としたアクションです。 公開実行中かそうでないかをCELFが判別して then側とelse側のアクションを実行します。 例えば、公開実行とテスト実行とで別々のテーブルを利用できたり、デバッグポップアップを出したりすることができます。

使用例

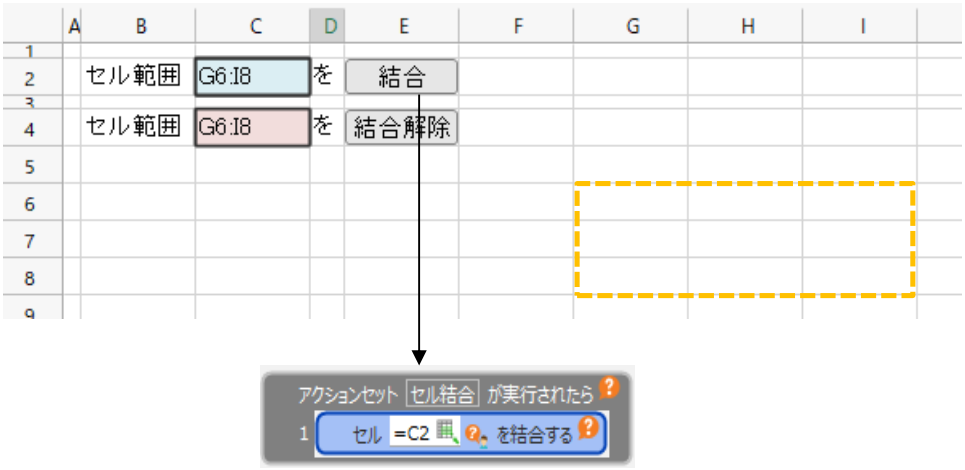
使用例1：

使用例2：



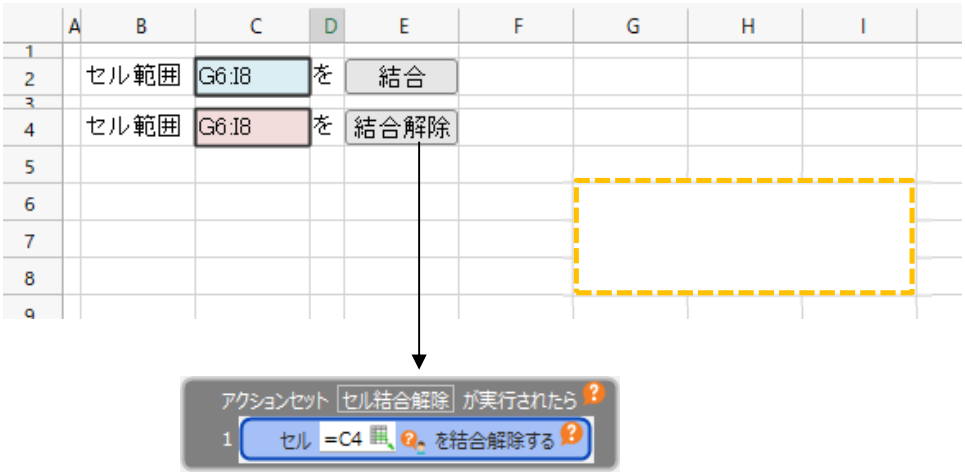
アクション名	セルを結合する
概要	 シート範囲内の指定されたセル範囲を結合します。
ヒント	シート範囲内の指定されたセル範囲を結合します。 セルの単一指定はできません。また、実行時の評価結果が単一セルである場合は、結合処理を行いません。
仕様	アクションで動的にセルを結合することができます。ただし、シート範囲外を含むセル範囲を指定した場合はエラーとなります。また、なお単一セルに対してはなにも行いません。

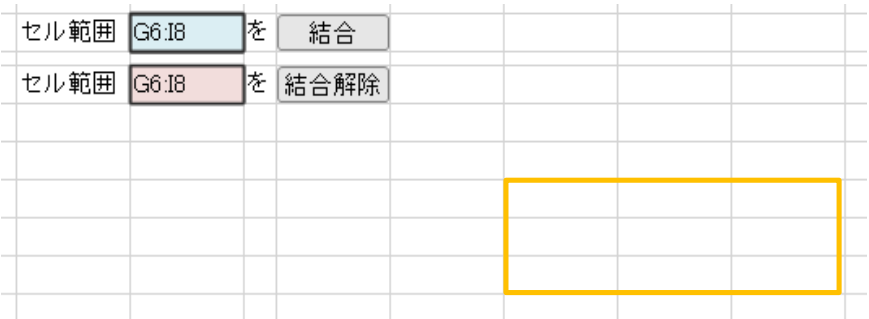
使用例

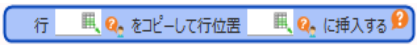


アクション名	セルを結合解除する
概要	 シート範囲内の指定されたセル範囲の結合セルを結合解除します。
ヒント	シート範囲内の指定されたセル範囲の結合を解除します。 セルの単一指定はできません。また、結合セルの基準セルを含んだセル範囲が指定された場合はすべての結合が解除されます。結合セルの起点セルを含まないセル範囲指定の場合、または、実行時の評価結果が単一セルである場合は結合解除処理を行いません。
仕様	アクションで動的にセル結合を解除することができます。ただし、シート範囲外を含むセル範囲を指定した場合はエラーとなります。なお、結合セルの基準セルを含んだセル範囲が指定された場合はすべての結合が解除されますが、結合セルの基準セルを含まないセル範囲が指定された場合、または、単一セルに対してはなにも行いません。

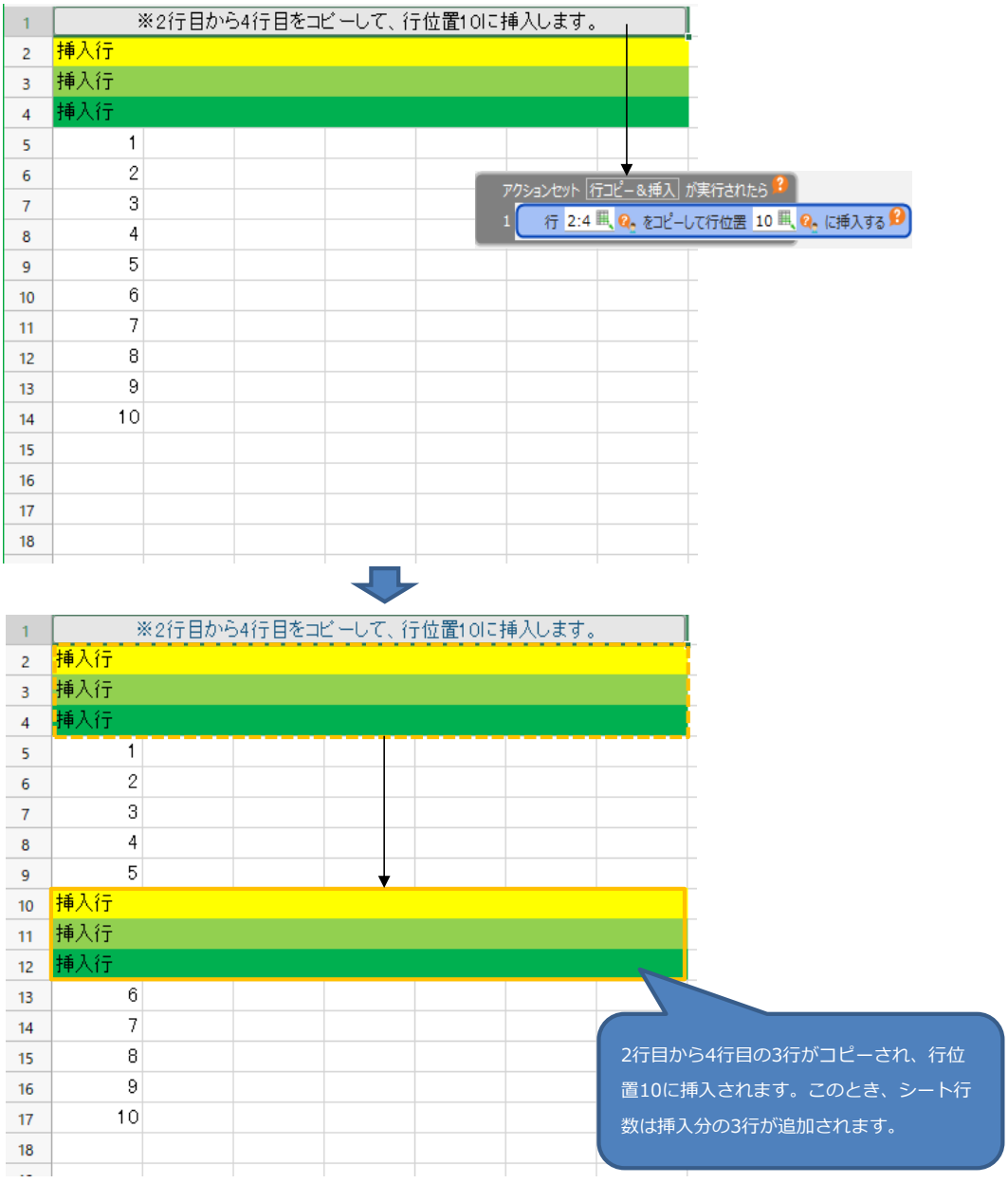
使用例

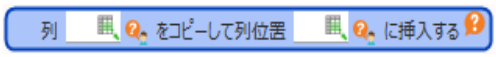




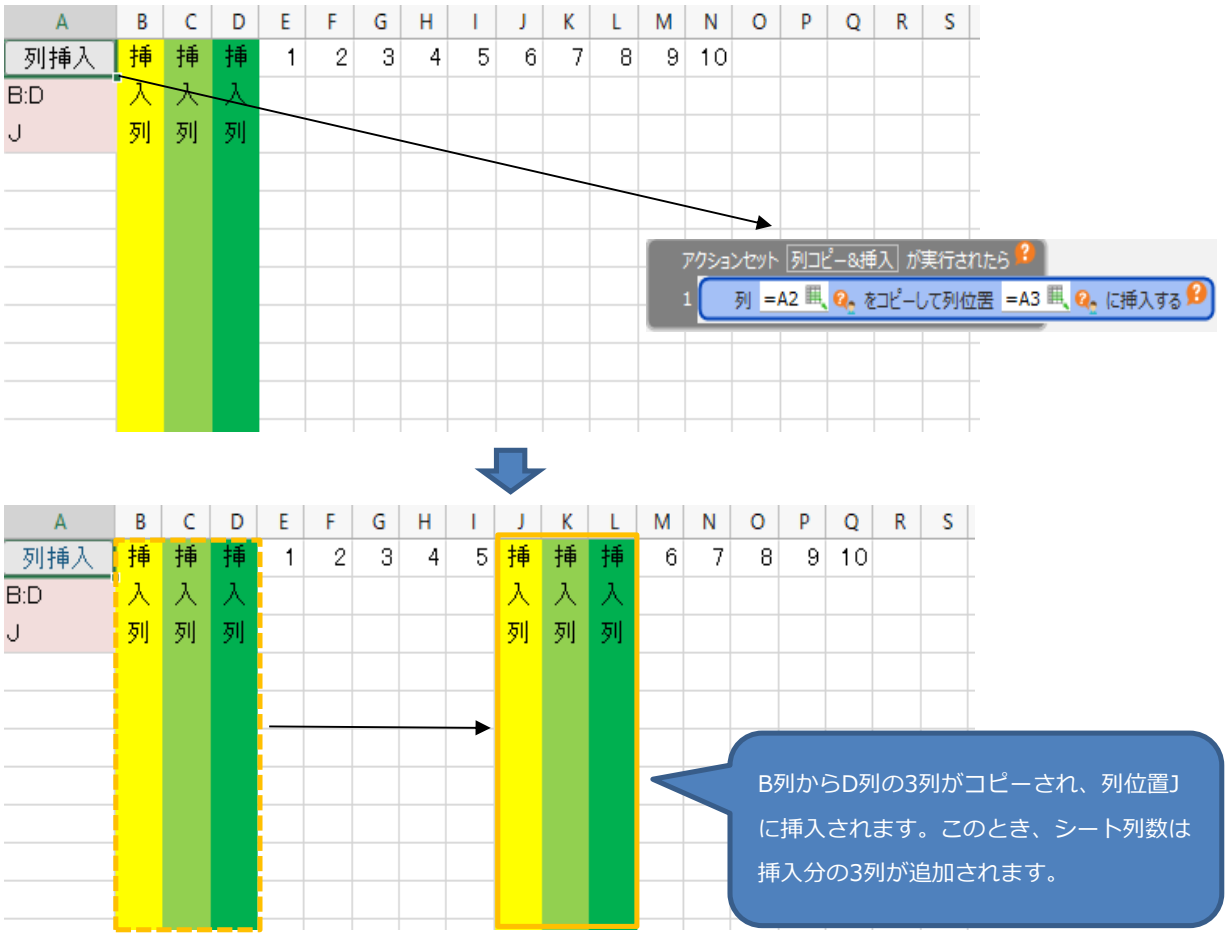
アクション名	行をコピーして挿入する
概要	 指定した行（範囲）をコピーして、指定した行位置に挿入します。
ヒント	指定の行（範囲）をコピーし、指定した行位置に挿入します。このアクションには以下の制限事項があります。 ・コピー対象行（範囲）、および、挿入行位置の複数指定はできません。 ・コピー対象行（範囲）の範囲内に挿入することはできません。 また、挿入することによって、コピーされる行数分がシートに追加されることに注意してください。
仕様	コピーされた行を指定行位置に挿入（追加）します。コピーの対象行（範囲）、および、挿入位置は共に複数指定はできません。 実行時においては、コピー対象行（範囲）の範囲内に挿入することはできません。また、コピーする行・挿入位置に式を指定した場合、これら式の評価結果が列を表す値ではない場合はエラーとなります。

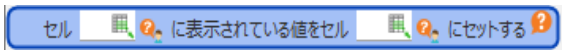
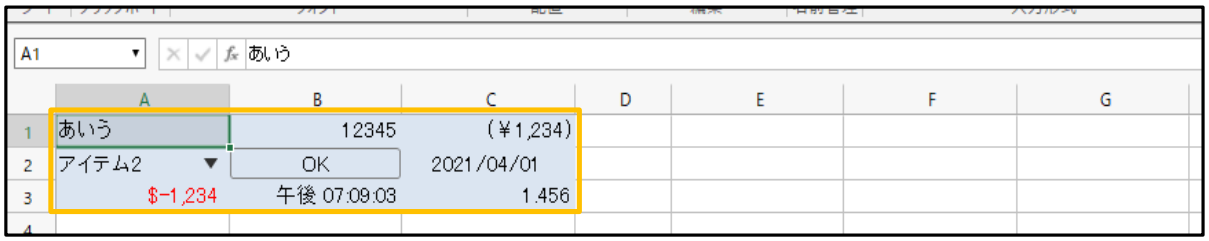
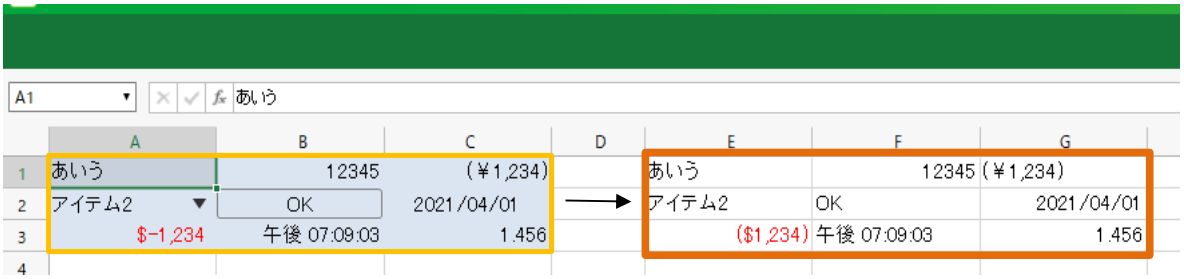
使用例



アクション名	列をコピーして挿入する
概要	 指定した列（範囲）をコピーして、指定した列位置に挿入します。
ヒント	指定の列（範囲）をコピーし、指定した列位置に挿入します。このアクションには以下の制限事項があります。 ・コピー対象列（範囲）、および、挿入列位置の複数指定はできません。 ・コピー対象列（範囲）の範囲内に挿入することはできません。 また、挿入することによって、コピーされる列数分がシートに追加されることに注意してください。
仕様	コピーされた列を指定列位置に挿入（追加）します。コピーの対象列（範囲）、および、挿入位置は共に複数指定はできません。 実行時においては、コピー対象列（範囲）の範囲内に挿入することはできません。また、コピーする列・挿入位置に式を指定した場合、これら式の評価結果が列を表す値ではない場合はエラーとなります。

使用例



アクション名	セルに表示されている値をセットする
概要	 指定したセルに表示されている値を、指定したセルを起点としてセットします。
ヒント	指定のセルまたはセル範囲に表示されている値を取得し、指定したセルにセットします。 取得対象セル、および、セット先セルの複数指定はできません。
仕様	指定したセルに表示されている値を指定したセルを起点としてセットします。 値取得元のセルは範囲指定が可能です。

使用例